

伊勢市教育研究所

<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

平成 25 年 10 月 1 日 発行

伊勢市教育研究所

伊勢市小俣町元町 540 番地

たより

教職員研修講座【ICT スキルアップ講座】

第 17 号

「ICT スキルアップ講座 . . .」

～ デジタル教科書の活用・情報モラル・スクラッチの活用～

講師： 山本 充さん(大湊小学校教諭)・正木靖宏さん(修道小学校教諭)

山本真二さん(大湊小学校教諭)・唐坂 孝さん(小俣小学校教諭)

河村尚紀さん(修道小学校事務職員)・石井清文さん(修道小学校教諭)

河村広之さん(教育研究所指導主事) 情報教育研究会の皆さんです

< スキルアップ講座 . >

8 月 19 日(月)、大湊小学校を会場に、午前と午後に分けて ICT スキルアップ講座と が開催されました。講師は、情報教育研究会の皆さんです。内容は、デジタル教科書の使い方と情報モラルです。

デジタル教科書の使い方について説明が始まりました。伊勢市では、H24 年度末に新年度から一斉に使用できるようにと、中学校には英語・数学・国語のデジタル教科書を、小学校には国語と算数のデジタル教科書を導入しました。先行して使用していた学校からは、「わかりやすい」「集中度が高まる」などの声が多く出され、一斉導入により全ての学校においてよくわかる楽しい授業の実現を支援できるのではと期待しています。



講師の先生が、デジタル教科書の機能を話し始めると驚きの声。「そこだけ大きくなるんや!」「動きがあると一点集中やなあ!」と感心する参加者の先生方。急激に進化する情報社会の中で、ICT 機器の効果的な活用によって、授業の手法が広がり、より魅力的なものになると感じました。



実際にデジタル教科書を使う時間になりました。教科と学年を選んでクリックすると「目次」が出てきます。単元を選ぶと、導入のページが出てきます。このころになると、

参加者の先生方が自由に活動を始めます。目の前に子どもがいるかのようにページを追い、工夫する先生方。「こんなこともできるよ！　さんやったら喜ぶやろなあ！」と、子どもの特性にあわせた使い方を模索しています。

講習後は、実践例の情報交換を行いました。国語では、部分的に拡大したり筆順を示したりする機能や、マーカーを使って強調したりする機能が紹介されました。算数では、導入部分や図形領域でのアニメーション機能がとりあげられ、「これやったらわかりやすいなあ。」「集中力や意欲が高まるなあ。」という声が聞かれました。

講習の合間に、書画カメラやプロジェクターの使い方も教えてくれます。電源の入れ方やケーブルのつなぎ方等、「こんなこと今さら聞きにくいなあ・・・」と思ってしまう疑問を丁寧にわかりやすく教えてくれます。「ICT 機器は、動かさないとただの物ですよ。気楽にさわってみてください。」と講師の先生。笑顔と安心感が会場いっぱいに広がります。ICT 機器の活用の技を一人ひとりに丁寧に伝えるこの講座は、今後も続けていきたいものです。



後半は、情報モラルについてのお話です。情報端末を使って人と人がつながる今の時代、正しい知識と理解の上で積極的に情報社会に参画していくことが求められています。情報手段をいかに上手く賢く使っていくか、そのためには判断力や心構えを身につけるだけでなく、情報社会の特性の一側面である影の部分の部分を教えていく必要があるのです。

情報モラル教育を進める上で参考になるホームページのアドレスが紹介され、実際に試してみることになりました。『ネット社会の歩き方』というサイトに人気が集まり、「これ使えるなあ！」「低学年でもできるよ！」という声が聞こえます。先生方の意欲溢れる学び多きひとときです。

アンケートより（一部抜粋）

具体的な機器の使い方、講習後の各先生の実践方法について聞かせてもらったのが参考になりました。情報モラルの資料やグループで話し合い活動をしていただき、情報共有できたことが助かりました。

パソコンはやっぱりさわってみること、とにかくさわってみることが一番大切だと思いました。日々の学校での生活の中でさわる時間をつくっていきたいです。

デジタル教科書を使うと、今まで模造紙に書いて貼ったり、教師の指示が伝わりにくいといったことがなくなるので、とてもいいなと改めて感じました。情報モラルでは、LINE や DS で今まで知らなかったことができるということが知れたので、もっと今まで知らなかったことがあると思うので知っていこうと思います。



< スキルアップ講座 >

8月23日(金)、明倫小学校でICTスキルアップ講座が開催されました。内容は、スクラッチの活用とデジタル教科書の使い方です。

スクラッチについての講習が始まりました。スクラッチというのは、無料のプログラミング学習ソフトのことで、教職員に一台ずつ配備されている校務用PCのデスクトップ上にショートカットがあります。「ネコのマークが気にはなっていたけど・・・学習ソフトだったんだ」と参加者の声。なるほど、使ってみてはじめてその良さに気づくものですよね。



まず、基本的な操作についてのお話です。登場人物の決め方やアレンジの仕方、簡単な動かし方を学びます。画面上のネコを歩かせたり、回転させたり、それらの動きを繰り返したり。時には「ニャー」と鳴かせてみたり。

次に、様々なコマンド(命令)を組み合わせます。(コスチュームを にする) (「 」 と言う) (歩動かす) (秒待つ) (回繰り返す) などのコマンドを組み合わせると、ネコが意思を持っているかのように動きます。さらに、(もし に触れたなら) (がクリックされた時) などのコマンドを付け加えると、動きがより自然になります。このようなプログラミングは、より高いレベルの人材を育成する新型のスキルとして光があてられるのではと思いました。義務教育における情報教育の一つの流れとして、プログラミング教育の推進を図る時代がきたように感じました。

後半は、デジタル教科書の使い方についての講習です。実際に、デジタル教科書を使いながら様々な機能を紹介しました。すでに使っている先生からも「こんなこともできるんやあ。」という声が聞かれました。

アンケートより (一部抜粋)

スクラッチは、子どもたちが喜びそうです。中には、天才的なひらめきのある子もいるかもしれませんが。いろんなソフトができて、何でも好きなことに熱中できそうです。パソコンクラブの子どもたちに教えてあげたいと思います。「デジタル教科書」は、国語・算数で使っています。グラフや表など、すぐに使えるので大変ありがたいです。子どもたちの力も伸びているように思います。

スクラッチの詳しい使い方を教えていただきありがとうございました。子どもたちがパソコンを使う機会は、多分インターネットゲームがしたいという目的が多いと思います。このスクラッチを取り入れることで、子どもたちがパソコンを使いたいと思う目的が変わるんじゃないかと思います。また、自分で使って練習してから、子どもたちの教育に使っていきたいと思います。

こんなソフトが入っているなんて全く知りませんでした。できれば今後もこういったものを掘り出して紹介していただけるとありがたいです。どうしても自分から全く知らないものをさわすることはまずありません。こんなソフトが埋もれているのはもったいないですね。

